

教科	総合的な学習の時間	学年	第3学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
タブレット学習	5	基本的な操作について理解するとともに、学習したことを今後の生活に生かすことができる。	パソコンやタブレットの基本的な操作について理解している。	設定した課題に対し、より良い解決方法を工夫している。	パソコンやタブレットの良さなどについて理解し、目的をもって取り組もうとしている。
バリアフリーについて調べよう	5	バリアフリーについて、意欲的に調べたり、発表したりすることができる。	身体に障がいのある人や高齢者の生活や願いを理解している。	自分の考えと友だちの考えに同じところはないか、気を付けながら話し合っている。	友だちと協力して調べたり、発表したりする中でお互いのよさを感じ取ろうとしている。
わたしたちの町、平井	5	探究的な活動を通して自分が住んでいる町について理解を深めるとともに、今後の生活に生かすことができる。	自分が住む地域の様子について理解している。	設定した課題に対し、より良い解決方法を工夫している。	地域の良さや安全面などについて理解し、目的意識をもって活動しようとしている。
昔たんけんをしよう	10	社会科の「市の様子と人々のくらしのうつりかわり」の学習をきっかけに、昔の人々の生活の工夫や、化学技術の進歩、自分たちの暮らしの変化などについて考えていくことができる。	昔の道具を知ることきっかけに、昔の良さを知ると同時にその苦勞も知り、私たちが当たり前に使っている身近な道具も、人々の努力によって進化してきたことを理解している。	設定した課題に対し、より良い解決方法を工夫している。	活動を通して得た経験や知識などを、今後の自己の成長に生かしていけるように、目的意識をもって活動している。
ユニバーサル交流会	10	私たちの周りには高齢者や障害をもつ人など、多様な人々が存在することに気づき、その人たちを知り、交流などをする中で、自己の今後の生き方に生かすことができる。	高齢者や障害をもつ人など多様な人々がいることを知り、共生していくことの大切さを理解している。	設定した課題に対し、より良い解決方法を工夫している。	交流会の準備やイベントの企画など、目的意識をもって活動しようとしている。